

国立音楽大学ピアノフェスティバル 参加募集要項



2025年7月20日（日）

会場：国立音楽大学

主催：国立音楽大学

後援：立川市教育委員会

国立音楽大学ピアノフェスティバル

「ピアノフェスティバル」へようこそ！

「くにおん」のピアノ教育エッセンスがぎゅっと詰まったイベントです。

本学教員による丁寧なレッスン、充実した講座、リトミック体験など興味に合わせて受講できます。

美しい響きの本学講堂小ホールでコンサートも行います。

参加募集要項

主催： 国立音楽大学

後援： 立川市教育委員会

日時： 7月20日（日）10：00～17：00（予定）

対象： 小学生、中学生、高校生（未就学児・一般は一部講座のみ）

※未就学児・小学生の参加者は、1名につき見学付添い者（保護者あるいは指導者等）1名が必要です。

会場： 国立音楽大学（新1号館、講堂小ホール、楽器学資料館、図書館 他）

西武拝島線・多摩モノレール「玉川上水駅」下車徒歩7分

※当日は、学生駐車場（大学正門横）を無料でご利用いただけます。

参加料： 1人500円（保険料を含みます。）

※見学付添い者もお支払いいただきます。

募集人数： 次ページ以降のレッスン・講座のご案内をご参照ください。

申込期間(*)： ■レッスン **先着順**

5月12日（月）10:00 ～ 5月15日（木）16:00（小学生、中学生、高校生のみ対象）

■各講座 **先着順**

5月19日（月）10:00 ～ 5月22日（木）16:00（小学生、中学生、高校生、一般）

お申込みの際には入力内容をよくご確認くださいませよう願いたします。

お申込み後の変更はできませんので、予めご了承ください。

※1 申込期間内でも定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。

※2 レッスン受講ならびに講座受講可否につきまして、6月中旬までにメールにてご連絡いたします。

*「くにおんピアノコンクール」の募集要項は別途ございます。

申込期間が異なりますのでご注意ください。

♪ レッスン・講座のご案内 ♪

- ・見学付添いは、参加者1名（小学生～高校生までに限る）につき3名までとさせていただきます。
- ・募集人数に見学付添いは含まれません。
- ・受講者と共に室内へお入りになる場合、受講申込みフォームに見学付添い者の氏名等をご入力ください。（一部人数制限のある授業もございます。）
- ・レッスンは、<A>～<F>より1回のみ受講いただけます。第1希望～第3希望までご選択ください。
- ・講座（図書館自由見学も含む）はすべて事前申し込み制です。

◆ピアノレッスンを受けてみよう！（本学ピアノ教員によるレッスン）

区分：<A>,,<C>,<D>,<E>,<F>

[募集人数] 80名程度

[会場] 新1号館レッスン室

[担当講師] (50音順)

梅本 実／江澤 聖子／遠藤 志葉／金子 恵／河原 忠之／沢田 千秋／進藤 郁子／田中 悠一郎／新納 洋介／濱尾 夕美／堀江 志磨／前田 健治／山田 剛史／山内 のり子

[レッスンについて]

小学生・中学生・高校生のみ受講可能です。

指定の課題曲はありませんが、ぜひクラシック曲をご選曲ください。

申込みフォームに受講曲（作曲者・曲名）を記載してください。

※お申込み後の受講曲変更は原則受け付けておりません。

◆身体で演奏表現を考えよう！（ダルクローズリトミック体験）

区分：<ア>

[募集人数] 25名

[会場] 新1号館142オーケストラスタジオ

[担当講師] 井上 恵理

[講座について]

普段はピアノという楽器を通して音楽を奏でていると思いますが、リトミックでは自分の身体を楽器のようにして音楽の諸要素を体験します。耳を澄ませてよく聴いて、身体で音楽を奏でてみましょう。

[持ち物]

当日は動きやすい服装と靴（底の薄いシューズ等）でご参加ください。

◆ピアノの歴史を資料館で学ぼう！

区分：<イ>

[募集人数] 10名（見学付添いは、参加者1名につき最大1名まで）

[会場] 楽器学資料館

[ガイド] 国立音楽大学楽器学資料館 学芸員

[見学について]

楽器学資料館所蔵のピアノについて学芸員が解説します。

モーツァルトやベートーヴェン、ショパンの時代のピアノは、それぞれ現代のピアノとどこが違うのでしょうか。また、ハーブシコード、クラヴィコード、パイプオルガンを見学し、鍵盤楽器の歴史を学びます。

※見学の際は学芸員の指示に従ってください。

◆オルガン・チェンバロの響きを聴いてみよう！

区分：<ウ>

[募集人数] 20名

[会場] S.P.C.-A,B

[担当講師] 宮崎 賀乃子、新田 朝香

[講座について]

バッハ、モーツァルト、リスト、ブラームス、ドビュッシーなど鍵盤の名人たちの世界に近づくために、いろいろな鍵盤楽器の音に触れてみるのがお勧めです。普段ピアノで弾いている作品をチェンバロやオルガンで演奏するとどのような響きがするのでしょうか？！ピアノが生まれる前に活躍していたこれらの楽器がどのように音を出しているのか、楽器の仕組みもお話します。見て、聴いて、触って、むかしの鍵盤楽器の世界をぜひ一緒に体験してみましょう。

◆くにおんフォルテピアノにふれてみよう！

区分：<エ>

[募集人数] 各時間 12名※お申込みは中学生以上とさせていただきます。

[会場] 楽器学資料館

[担当講師] 久元 祐子

[講座について]

国立音楽大学創立100周年記念事業の一環としてフォルテピアノが制作されました。制作の際にモデルにしたのは、ウィーンで活躍した鍵盤楽器製作家、アントン・ヴァルターのフォルテピアノ（1795年頃製）です。ヴァルターの楽器は、モーツァルト、ハイドン、ベートーヴェンにも愛用されました。音域は5オクターヴ。鍵の深さは、現代のピアノの半分くらい。繊細なハンマーで跳ね上げるウィーン式アクションです。透明感や軽やかさなど、楽器の特性は、当時の作品とも密接に結びついています。当時、モーツァルトが弾いた楽器はどのようなタッチだったのか、どんな音色だったのかを知ることは、現代のピアノでの演奏の際にも大きなヒントになります。国立音楽大学楽器学資料館において、実際に、その楽器に触れることができる貴重な機会です。

以下の曲の中から一つ選び、準備していらしてください。

「くにおんフォルテピアノ」と共にみなさんにお会いできますのを楽しみに、お待ちしております。

モーツァルト：メヌエット長調 KV1e

モーツァルト：メヌエットへ長調 KV 2

モーツァルト：ソナタ KV545 第1楽章

ソナタ KV545 第2楽章

◆のぞいてみよう！ピアノの中身

区分：<オ>

[募集人数] 50名程度

[会場] 新1号館128合唱スタジオ

[担当講師] 大津 直規

[講座について]

ピアノを弾く時に、鍵盤から弦を打つハンマーまで、どのような「仕組み」が関わっているのでしょうか。今回は、ピアノの構造について、その仕組みだけでなく、歴史にも目を向けて、ピアノを弾いた時に一体何が起きているのかを、見てみましょう。鍵盤を押した時、弾いた時にピアノの中で起きていること。ピアノの構造が果たしている、音を創り出すための役割。普段は見えない所を見て、そして理解することは、普段の演奏にも何かしら大きなプラスが生まれます。ピアノを弾く人が、誰でも「ピアノ」の「タッチ」や「音色」について、自信を持って対応できるようになるための時間です。

◆シューマン時代のフォルテピアノにふれてみよう！

区分：<カ>

[募集人数] 各時間 12 名※お申込みは中学生以上とさせていただきます。

[会場] 楽器学資料館

[担当講師] 久元 祐子

[講座について]

国立音楽大学楽器学資料館には、シューマン時代のフォルテピアノの復元楽器が常設されています。ウィーンの鍵盤楽器製作家グラーフ（1830 年代）制作のフォルテピアノをモデルにした楽器です。ウィーン式アクションの繊細で柔らかな音色は、シューマンの心を捉えました。ペダルが 4 本備わっています。現代のピアノにも装備されているダンパー・ペダルとシフト・ペダルの他、弱音ペダルが 2 本ついているのが特徴です。モデレーターと呼ばれるこの 2 本のペダルは、音量だけでなく音色も柔らかく変化させることができる弱音装置です。シューマンの弱音へのこだわり、夢のような儂い音を是非体験してみましょう。きっと現代のピアノを弾くときの「pp」の表現が豊かになるはずです。ペダルの仕組みを学ぶとともに、様々な音色で表現することに挑戦してみましょう。

下記の曲の中から 1 曲選び、準備していらしてください。

グラーフ・ピアノとともにシューマンの夢の世界を旅してみましょう。

シューマン：《子供のためのアルバム》から「メロディ」op.68-1

シューマン：《子供のためのアルバム》から「追憶」op.68-28

シューマン：《子供の情景》から「トロイメライ」op.15-7

シューマン：《子供の情景》から「詩人は語る」op.15-13

◆美しい響きのホールで演奏してみよう！

抽選で選ばれた受講生に、素晴らしい響きを誇る講堂小ホールでの演奏を体験していただきます。また、くにおんピアノコンクール最優秀賞受賞者による記念演奏会も開催いたします。

[募集人数] 6 名

[会場] 本学講堂小ホール

[注意事項]

- ・出演希望の方は、レッスン申込みフォーム内【コンサートへの出演希望について】の設問で「出演を希望する」とご回答ください。
- ・演奏曲は、レッスン受講曲と同じとさせていただきます。
- ・演奏時間は下記の通りです。
小学 1～3 年生：3 分以内
小学 4～6 年生：4 分以内
中学生：5 分以内
高校生：7 分以内
- ・暗譜で演奏してください。
- ・出演希望者が多数の場合は抽選とさせていただきます。
出演決定はピアノフェスティバル参加に関するご案内と同時にお知らせいたします。

※講堂小ホールでのリハーサルはございません。あらかじめご了承ください。

◆音楽図書館を見学しよう！

[館内ツアー] 10:00～ / 11:20～ / 13:20～

※各開始時間 10 分前に図書館へお越しください。

ツアー参加後、またご参加いただかなくても、図書館を自由にご見学いただけます。

[会場] 図書館

[見学について]

国立音楽大学附属図書館は、音楽と大学の授業に特化した国内有数の音楽図書館です。

作曲者の自筆譜（複製）やいろいろなバージョンのピアノ教則本などを展示しています。

普段は入れない図書館をこの機会にのぞいてみませんか？

楽譜を見て、作曲家の様々な意図や特徴を考えてみましょう。

図書館スタッフによる館内案内ツアーを実施いたします（所要時間 20 分程度）。入館後にご自由に館内をご見学いただけます。

※図書館内での飲食はご遠慮いただいております。

♪ 時間割 ♪

※アルファベット表記は**レッスン**、カタカナ表記は**講座**の区分です。

1 時間目 10:00～11:10	<A> レッスン① 10:00～10:30 新1号館レッスン室	<ア> 身体で 演奏表現を考えよう！ (ダルクロワズリトミック体験) 10:00～11:00 新1号館142 オーケストラスタジオ	<イ> ピアノの歴史を 資料館で学ぼう！ 10:00～11:00 楽器学資料館	音楽図書館を 見学しよう！① 10:00～11:00 図書館
	 レッスン② 10:40～11:10 新1号館レッスン室			
		※レッスンA・B受講者（見学付添い者含む）はお申込み不可		※図書館は見学自由です
2 時間目 11:20～12:30	<C> レッスン③ 11:20～11:50 新1号館レッスン室	<ウ> オルガン・チェンバロの 響きを聴いてみよう！ 11:20～12:20 S.P.C.-A,B	<エ> くにおんフォルテピアノに ふれてみよう！ 11:20～12:20 楽器学資料館	音楽図書館を 見学しよう！② 11:20～12:20 図書館
	<D> レッスン④ 12:00～12:30 新1号館レッスン室			
		※レッスンC・D受講者（見学付添い者含む）はお申込み不可		※図書館は見学自由です
昼休み 12:30～13:20	7号館食堂をご利用ください。 ※その他館内、スタジオ内でのお食事はご遠慮ください。			
3 時間目 13:20～14:30	<E> レッスン⑤ 13:20～13:50 新1号館レッスン室	<オ> のぞいてみよう！ ピアノの中身 13:20～14:20 新1号館128 合唱スタジオ	<カ> シューマン時代の フォルテピアノに ふれてみよう！ 13:20～14:20 楽器学資料館	音楽図書館を 見学しよう！③ 13:20～14:20 図書館
	<F> レッスン⑥ 14:00～14:30 新1号館レッスン室			
		※レッスンE・F受講者（見学付添い者含む）はお申込み不可		※図書館は見学自由です
15:00～17:00	美しい響きのホールで演奏してみよう！ 講堂小ホール			

講座は、1時間目（<ア>,<イ>よりどちらか1講座）、2時間目（<ウ>,<エ>どちらか1講座）、3時間目（<オ>,<カ>どちらか1講座）合計3講座まで選択できます。

例①：レッスン<A>+講座<ウ>+講座<カ>

例②：レッスン<C>+講座<ア>+講座<オ>

例③：講座<ウ>+講座<オ>

※下記のような選択はできませんのでご了承ください。

例：レッスン<A>+講座<ア>+<イ>

お問い合わせ： 〒190-8520 東京都立川市柏町 5-5-1

国立音楽大学演奏芸術センター

TEL：042-535-9535

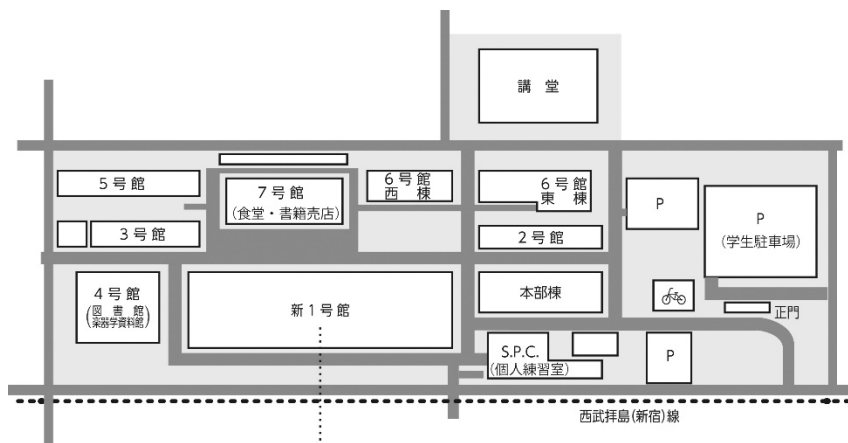
Email：workshop@kunitachi.ac.jp

お申込先： レッスン受講申込みはこちら

講座受講申込みはこちら



【キャンパス案内図】



新1号館1階

